

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
体育実技 I (児童・栄養フィールド以外)		1年	通年	別途、時間割参照
Sports & Exercises I				
単位数	授業の形態	授業の性格		
1単位	実験実習	選択 (健康スポーツフィールドは必ず履修のこと)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
保健体育講義				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
山内 健次	本館2階	木曜・金曜9:00~16:00 (授業時間中は除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
現代社会では身体活動の減少による生活習慣病の罹患者や、高齢者では特に下肢の筋力低下によって日常生活に不便さを感じている人が、多く見受けられる。その要因の一つは、若い年代において運動を楽しむ習慣が身につけていないことがあげられる。生涯において健康でより楽しい生活を過ごすためには、自分に適した興味のあるスポーツを見つけていくことが重要である。この授業では、学校体育で体験した運動はもちろんのこと、生涯にわたって楽しむことのできるニュースポーツと呼ばれる、気がるに行うことのできる種目も経験する。				
授業の到達目標				
多種多様なスポーツを経験することから ①自分に適したスポーツを見つけ出すことができるようにする。 ②一緒に楽しむ仲間と協調性を持ちながら活動ができるようにする。 ③経験したことのないスポーツルールが理解できるようにする。				
授業の方法				
スポーツの実践、ゲームが中心となる実技				
学習の成果				
①スポーツに興味を持ち、自分で今後楽しみたいと思える種目を見つけることができる。 ②心身における健康の保持増進に役立てることができる。 ③多くのスポーツのルールが理解でき、見ることの楽しみにもつながることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業にあたっての服装や態度と注意点、授業内容の確認、成績評価方法)			
第2回目	ソフトバレーボール① ゲーム			
第3回目	ソフトバレーボール② ゲーム			
第4回目	ソフトバレーボール③ ゲーム			
第5回目	新体力テスト①			
第6回目	新体力テスト②			
第7回目	新体力テスト③			
第8回目	硬式テニス① 基本技能 乱打			
第9回目	硬式テニス② 応用技能 乱打			
第10回目	ハドルテニス① ダブルスゲーム			
第11回目	ハドルテニス② ダブルスゲーム			
第12回目	ハドルテニス③ ダブルスゲーム			

第13回目	卓球① ダブルスゲーム		
第14回目	卓球② ダブルスゲーム		
第15回目	卓球③ ダブルスゲーム		
第16回目	ニチレクボール (屋外ペタンク) ゲーム		
第17回目	バレーボール①基本技能 (レシーブ、トス、サーブ) 6人制ゲーム		
第18回目	バレーボール② 6人制ゲーム		
第19回目	バレーボール③ 6人制ゲーム		
第20回目	バドミントン① ダブルスゲーム		
第21回目	バドミントン② ダブルスゲーム		
第22回目	インディアカ ゲーム		
第23回目	ファミリーバドミントン ゲーム		
第24回目	長なわ跳び= 1本なわ、2本なわ (屈折とび、平行とび等)、3本なわとダブルダッチ		
第25回目	キンボール① ゲーム		
第26回目	キンボール② ゲーム		
第27回目	ユニホック① ゲーム		
第28回目	ユニホック② ゲーム		
第29回目	バスケットボール① ゲーム		
第30回目	バスケットボール② ゲーム		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		90%	・協調性を持ってスポーツに参加している。 ・授業に使用する用具の準備や、後片付けを行っている。 ・審判など与えられた役割に対して責任を持って取り組んでいる。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)			
その他		10%	スポーツを行うに適した、服装やシューズが用意されている。
教科書と参考図書			
特に必要としない			
履修上の心得・ルール			
・運動のできる服装で参加すること ・協調性のある態度でのぞむこと ・指輪、ピアス等の装飾品は授業前にとること ・体育館への飲食物持ち込み禁止と携帯電話の使用禁止			

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
体育実技 I Sports & Exercises I		1年	通年	木曜日・2時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	実験実習	選択 (選択・教職課程必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
保健体育講義				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
渡部裕美	講師室	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
近年、生活の利便性が高まるにつれ、体を動かす機会が減少しつつあります。しかし、健康の維持に身体運動は欠かせません。身体運動を定期的に行うことで、脳の活性化、ストレス解消などの効果も得られます。この授業では個々にあった楽しんでできるスポーツを見出し、運動する習慣を身につけることを目標とする。				
授業の到達目標				
健康の保持増進を主な目的とし、楽しみながらスポーツに取り組み協調性を養うと共に、生涯スポーツの必要性の理解を深めることができるようにする。				
授業の方法				
実技を中心に、スポーツを安全に楽しむための説明や注意事項を交えながら授業を進めていきます。学生のスポーツ経験等を考慮しながら種目を決定します。				
学習の成果				
この授業を履修すると健康の保持増進に役立てることができ、自ら興味を持って取り組みたいスポーツを見出すことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の進め方、成績評価方法、実技受講における注意点等。)コミュニケーションゲーム			
第2回目	バランスボール(バランスボールを使ったストレッチ。その使用方法及び使用の際の注意点。)			
第3回目	バランスボール(ストレッチ及びバランスボールを使った運動とレクリエーション)			
第4回目	ソフトバレーボール①(ボールスキル、ルール説明)			
第5回目	ソフトバレーボール②ゲーム			
第6回目	ソフトバレーボール③ゲーム			
第7回目	キンボール①ゲーム			
第8回目	卓球①(ルール説明、基本練習)			
第9回目	卓球②ゲーム(リーグ戦)			
第10回目	卓球③ゲーム(総当たり戦)			
第11回目	ハンドボール①(ルール説明、基本練習)			
第12回目	ハンドボール②ゲーム			

第13回目	バレーボール①基本技能(レシーブ、トス、サーブ)6人制ゲーム		
第14回目	バレーボール②6人制ゲーム		
第15回目	バレーボール③6人制ゲーム		
第16回目	バドミントン①ゲーム		
第17回目	バドミントン②ゲーム		
第18回目	テニス①(基本技能)		
第19回目	テニス②ラリー		
第20回目	テニス③ラリー		
第21回目	インディアアカ①(ルール説明、基本練習)ゲーム		
第22回目	インディアアカ②ゲーム		
第23回目	バドミントン①(ルール説明、基本練習)ダブルスゲーム		
第24回目	バドミントン②ダブルスゲーム		
第25回目	バスケットボール①(ルール説明、基本練習)		
第26回目	バスケットボール②ゲーム		
第27回目	バスケットボール③ゲーム		
第28回目	ニュースポーツ①セバタクロウ(ルール説明、基本練習)		
第29回目	ニュースポーツ②カバディ		
第30回目	まとめ		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		90%	自ら授業に参加しようとする姿勢と協調性ある授業態度を重視します。必ず運動に適する着衣(ジャージ・運動靴)にて参加して下さい。安全上の理由から、アクセサリ・時計等は着用不可とします。
レポート			已むを得ない事情により欠席等が続いた場合には、レポート提出を必要とします。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容(態度含む)			
その他		10%	授業中のゲームにおける勝敗及び実技の達成度など。
教科書と参考図書			
特に必要としません。			
履修上の心得・ルール			
自ら授業に参加しようとする姿勢と協調性を持った授業態度を重視します。安全上の理由から20分以上の遅刻は認めません。実技実習のため、無断で或いは正当な理由なくして4回以上欠席した場合評価をDとします。正当な理由なくして遅刻を2回した場合には、欠席1回とします。已むを得ない事情を除き、運動に適する着衣(ジャージ・運動靴)にて参加しない場合には、安全上の理由から授業への参加を認めないこともあります。			

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
体育実技 I (児童フィールド) Sports & Exercises I		1年	通年	水曜日・5時限目
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	実験実習		選択 (教職課程必修 (幼稚園教諭二種))	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
保健体育講義				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
今井雄紀	非常勤講師室	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
現代の生活や食事において、生活習慣病の発症や筋力の低下により、若年層で日常生活に支障がでている人も多い。これらの大きな要因の一つに運動不足が挙げられている。健康維持のためには、自分に適した運動を継続して行うことがとても重要である。この授業では仲間との協調性を求め、生涯にわたり継続して行える自分に適したスポーツを見つけ出すことを目標としている。				
授業の到達目標				
仲間との協調性を養い、楽しみながらスポーツに触れ合うの事を目標とすることができるようにする。 その中で、各スポーツの基本的ルールを把握し、健康の保持増進を考えて生涯スポーツの必要性と理解を深めることができるようにする。				
授業の方法				
実技のみ。同種目を2~3時間授業を行い、基本的なスキルを習得させ試合形式で授業を行う。 運動が苦手な学生にも積極的に参加できるように、授業を進行させてゆく。				
学習の成果				
この授業を履修することにより ①コミュニケーション能力の向上を図ることができる。 ②基本的ルールを学ぶことができる。 ③健康の保持増進を図ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の進め方、成績評価方法、授業での注意点)			
第2回目	体力テスト①			
第3回目	体力テスト②			
第4回目	バスケットボール① 基本技能・ゲーム			
第5回目	バスケットボール② ゲーム			
第6回目	バスケットボール③ ゲーム			
第7回目	インディアカ①			
第8回目	インディアカ②			
第9回目	ソフトバレーボール①			
第10回目	ソフトバレーボール②			
第11回目	ソフトバレーボール③			
第12回目	ユニホック①			

第13回目	ユニホック②	
第14回目	卓球①	
第15回目	卓球②	
第16回目	ニチレクボール(ペタンク)	
第17回目	バドミントン①	
第18回目	バドミントン②	
第19回目	バドミントン③	
第20回目	バドミントン④	
第21回目	バドミントン⑤	
第22回目	バドミントン⑥	
第23回目	バレーボール①	
第24回目	バレーボール②	
第25回目	バレーボール③	
第26回目	フットサル①	
第27回目	フットサル②	
第28回目	ドッチボール①	
第29回目	ドッチボール②	
第30回目	まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	80%	出席、授業態度、協調性で評価。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容 (態度含む)	20%	
その他		
教科書と参考図書		
なし		
履修上の心得・ルール		
時間厳守、積極的な授業参加、協調性のある行動。 運動が行える服装、室内履き、外履きを両方持参。		

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
体育実技 I (児童フィールド) Sports & Exercises I		1年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	実験実習	選択 (教職課程必修 (幼稚園教諭二種))		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
保健体育講義				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山内 健次	本館2階	木曜・金曜9:00~16:00 (授業時間中は除く)		授業中に指示します
授業の概要				
現代社会では身体活動の減少による生活習慣病の罹患者や、高齢者では特に下肢の筋力低下によって日常生活に不便さを感じている人が、多く見受けられる。その要因の一つは、若い年代において運動を楽しむ習慣が身につけていないことがあげられる。生涯において健康でより楽しい生活を過ごすためには、自分に適した興味を持てるスポーツを見つけたことが重要である。この授業では、学校体育で体験した運動はもちろんのこと、生涯にわたって楽しむことのできるニュースポーツと呼ばれる、気がるに行うことのできる種目も経験する。				
授業の到達目標				
多種多様なスポーツを経験することから ①自分に適したスポーツを見つけ出すことができるようにする。 ②一緒に楽しむ仲間と協調性を持ちながら活動ができるようにする。 ③経験したことのないスポーツルールが理解できるようにする。				
授業の方法				
スポーツの実践、ゲームが中心となる実技				
学習の成果				
①スポーツに興味を持ち、自分で今後楽しみたいと思える種目を見つけることができる。 ②心身における健康の保持増進に役立てることができる。 ③多くのスポーツのルールが理解でき、見ることの楽しみにもつなげることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業にあたっての服装や態度と注意点、授業内容の確認、成績評価方法)			
第2回目	ソフトバレーボール① ゲーム			
第3回目	ソフトバレーボール② ゲーム			
第4回目	ソフトバレーボール③ ゲーム			
第5回目	新体力テスト①			
第6回目	新体力テスト②			
第7回目	新体力テスト③			
第8回目	硬式テニス① 基本技能 乱打			
第9回目	硬式テニス② 応用技能 乱打			
第10回目	ハドルテニス① ダブルスゲーム			
第11回目	ハドルテニス② ダブルスゲーム			
第12回目	ハドルテニス③ ダブルスゲーム			

第13回目	卓球① ダブルスゲーム		
第14回目	卓球② ダブルスゲーム		
第15回目	卓球③ ダブルスゲーム		
第16回目	ニチレクボール (屋外パタンク) ゲーム		
第17回目	バレーボール①基本技能 (レシーブ、トス、サーブ) 6人制ゲーム		
第18回目	バレーボール② 6人制ゲーム		
第19回目	バレーボール③ 6人制ゲーム		
第20回目	バドミントン① ダブルスゲーム		
第21回目	バドミントン② ダブルスゲーム		
第22回目	インディアカ ゲーム		
第23回目	ファミリーバドミントン ゲーム		
第24回目	長なわ跳び= 1本なわ、2本なわ (屈折とび、平行とび等)、3本なわとダブルダッチ		
第25回目	キンボール① ゲーム		
第26回目	キンボール② ゲーム		
第27回目	ユニホック① ゲーム		
第28回目	ユニホック② ゲーム		
第29回目	バスケットボール① ゲーム		
第30回目	バスケットボール② ゲーム		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		90%	・協調性を持ってスポーツに参加している。 ・授業に使用する用具の準備や、後片付けを行っている。 ・審判など与えられた役割に対して責任を持って取り組んでいる。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)			
その他		10%	スポーツを行うに適した、服装やシューズが用意されている。
教科書と参考図書			
特に必要としない			
履修上の心得・ルール			
・運動のできる服装で参加すること ・協調性のある態度でのぞむこと ・指輪、ピアス等の装飾品は授業前にとること ・体育館への飲食物持ち込み禁止と携帯電話の使用禁止			